

別表1 実験1（アメリカ対イラン）における各群の回答者特性

	統制群	実験群1	実験群2	実験群3	実験群4
回答数	200	201	199	201	201
年齢					
20-29	93 (46%)	93 (46%)	92 (46%)	93 (46%)	93 (46%)
30-39	58 (29%)	59 (29%)	59 (30%)	58 (29%)	58 (29%)
40-49	29 (14%)	29 (14%)	29 (15%)	30 (15%)	30 (15%)
50-	20 (10%)	20 (10%)	19 (10%)	20 (10%)	20 (10%)
性別					
女性	108 (54%)	111 (55%)	110 (55%)	110 (55%)	110 (55%)
教育					
大学卒業	117 (58%)	117 (58%)	115 (58%)	111 (55%)	113 (56%)
政治態度					
保守	28 (14%)	27 (13%)	33 (17%)	33 (16%)	24 (12%)
リベラル	86 (43%)	80 (40%)	79 (40%)	74 (37%)	85 (42%)
タカ派	58 (29%)	62 (31%)	59 (30%)	77 (38%)	71 (35%)
政治知識					
安保理常任理事国	87 (44%)	70 (35%)	81 (41%)	75 (37%)	78 (39%)
居住国					
アメリカ合衆国	10 (5%)	6 (3%)	7 (4%)	11 (5%)	12 (6%)
イギリス	83 (42%)	98 (49%)	90 (45%)	88 (44%)	97 (48%)
その他	107 (54%)	97 (48%)	102 (51%)	102 (51%)	92 (46%)

注) 実験刺激は年齢と性別により層化割り当てを行った。保守・リベラルの割合は0から10のスケール上における自己申告スコアにより算出した。タカ派は、国際紛争を解決するために軍事行動が最も適したあるいはしばしば必要な手段だと回答した人とした。政治知識は、複数の国から国連安保理常任理事国を正しく選ぶことができるか否かにより計測した（正答は中国）。

別表2 実験2（ロシア対イラン）における各群の回答者特性

	統制群	実験群1	実験群2	実験群3	実験群4
回答数	201	203	200	201	200
年齢					
20-29	93 (46%)	94 (46%)	92 (46%)	92 (46%)	92 (46%)
30-39	60 (30%)	60 (30%)	60 (30%)	60 (30%)	59 (30%)
40-49	29 (14%)	30 (15%)	29 (14%)	29 (14%)	29 (14%)
50-	19 (9%)	19 (9%)	19 (10%)	20 (10%)	20 (10%)
性別					
女性	112 (56%)	109 (54%)	110 (55%)	110 (55%)	109 (54%)
教育					
大学卒業	129 (64%)	113 (56%)	118 (59%)	117 (58%)	129 (64%)
政治態度					
保守	27 (13%)	31 (15%)	33 (16%)	30 (15%)	33 (16%)
リベラル	81 (40%)	98 (48%)	82 (41%)	91 (45%)	71 (36%)
タカ派	59 (29%)	67 (33%)	69 (34%)	71 (35%)	75 (38%)
政治知識					
安保理常任理事国	72 (36%)	78 (38%)	80 (40%)	75 (37%)	79 (40%)
居住国					
アメリカ合衆国	3 (1%)	5 (2%)	4 (2%)	10 (5%)	5 (2%)
イギリス	105 (52%)	104 (51%)	102 (51%)	98 (49%)	95 (48%)
その他	93 (46%)	94 (46%)	94 (47%)	93 (46%)	100 (50%)

注) 実験刺激は年齢と性別により層化割り当てを行った。保守・リベラルの割合は0から10のスケール上における自己申告スコアにより算出した。タカ派は、国際紛争を解決するために軍事行動が最も適したあるいはしばしば必要な手段だと回答した人とした。政治知識は、複数の国から国連安保理常任理事国を正しく選ぶことができるか否かにより計測した（正答は中国）。

別表3 実験3における各群の回答者特性

	統制群	実験群1	実験群2	実験群3	実験群4	実験群5
回答数	213	212	211	213	207	216
年齢						
20-29	30 (14%)	30 (14%)	30 (14%)	30 (14%)	27 (13%)	31 (14%)
30-39	69 (32%)	69 (33%)	68 (32%)	68 (32%)	68 (33%)	70 (32%)
40-49	71 (33%)	70 (33%)	70 (33%)	71 (33%)	70 (34%)	73 (34%)
50-	43 (20%)	43 (20%)	43 (20%)	44 (21%)	42 (20%)	42 (19%)
性別						
女性	106 (50%)	106 (50%)	105 (50%)	106 (50%)	101 (49%)	110 (51%)
教育						
大学卒業	139 (65%)	127 (60%)	133 (63%)	132 (62%)	134 (65%)	139 (65%)
政治態度						
保守	46 (22%)	43 (21%)	54 (27%)	53 (25%)	40 (20%)	45 (22%)
リベラル	31 (15%)	24 (12%)	16 (8%)	23 (11%)	26 (13%)	24 (12%)
タカ派	40 (19%)	41 (19%)	31 (15%)	28 (13%)	45 (22%)	34 (16%)
政治知識						
安保理常任理事国	103 (48%)	109 (51%)	102 (48%)	107 (50%)	117 (57%)	113 (53%)

注) 実験刺激は年齢と性別により層化割り当てを行った。保守・リベラルの割合は0から10のスケール上における自己申告スコアにより算出した。タカ派は、国際紛争を解決するために軍事行動が最も適したあるいはしばしば必要な手段だと回答した人とした。政治知識は、複数の国から国連安保理常任理事国を正しく選ぶことができるか否かにより計測した(正答は中国)。